# 第16期 決算説明資料

(平成18年3月1日~平成19年2月28日)

2007年4月11日 株式会社UCS





# 目次

#### 16期の営業概況

2 3 4 5 6 7 8 9 1 0 1 1	<ul> <li>主要数値実績</li> <li>貸倒および利息返還損失の対応状況</li> <li>主要財務数値</li> <li>財務ハイライト</li> <li>部門別業績</li> <li>カード会員数</li> <li>ショッピング取扱高</li> <li>月間稼働率</li> <li>ショッピングリボの取扱高・残高</li> <li>融資取扱高・残高</li> <li>その他の金融・サービス事業</li> <li>リスクマネジメント</li> </ul>	3 4 7 8 9 0 1 1 2 3 4 7 8 9 0 1 1 2 3 4 7 8 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9
1 2		1 4 ページ 1 5 ページ

#### 17期の取り組み

1.第17期経営方針	17ページ
2.貸金業法への対応	18ページ
3 . 会員拡大	19ページ
4.ショッピングの拡大	20ページ
5.融資の拡大	2 1ページ
6 . 保険・リース・その他サービス事業の強化	22ページ
7.経営目標	23ページ

# 第16期の営業概況

(平成18年3月1日~平成19年2月28日)

# 1.主要数值実績

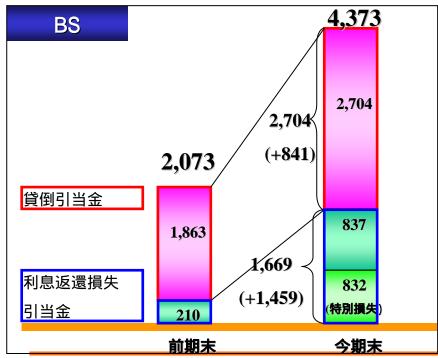
	前期	当期	増減
営業収益	15,025 <b>百万円</b>	17,699百万円	→ 26.7億円 (17.8%増)
営業利益	3,446百万円	3,996百万円	
経常利益	3,427百万円	4,011百万円	
当期純利益	2,412百万円	1,809百万円	今 6.0億円 (25.0%減)
1株あたり 当期純利益	268.27円	96.21円	平成18年3月1日に株式分割1:2を 行っております。

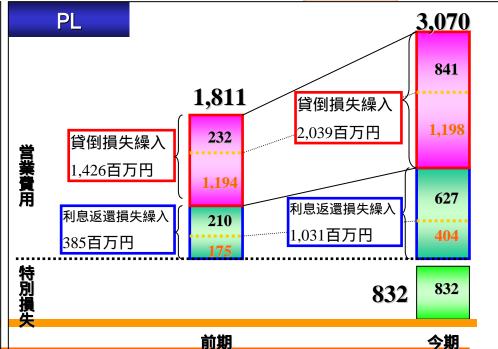
## 2.貸倒および利息返還損失の対応状況

BS	平成18年2月期	平成19年2月期	前期比增減額
貸倒引当金	1,863	2,704	841
利息返還損 失引当金	210	1,669 (832)	1,459
引当金合計	2,073	4,373	2,300

()内は特別損失額

		平成18年2 月期	平成19年2 月期	前期比増減額
貸倒損失繰入	引当金	232	841	609
	償却額	1,194	1,198	4
利息返還損失繰入	引当金	210	627	417
	償却額	175	404	229
合計	引当金	442	1,468	1,026
	償却額	1,369	1,602	233
特別損失		-	832	832





# 3.主要財務数值

	前期	当期	増減
資本金	1,610百万円	1,610百万円	➡ 増減なし
総資産額	78,774百万円	94,947 <b>百万円</b>	→ 161 <b>億円</b> 20.5 <b>%増</b>
株主資本	11,006百万円	12,696百万円	→ 16 <b>億円</b> 15.3 <b>%増</b>
自己資本比率	14.0%	13.4%	❤ 0.6%減
1株あたり株主賞	資本 1168.60円	675.10円	平成18年3月1日に株式分割1:2を 行っております。

## 4.財務ハイライト

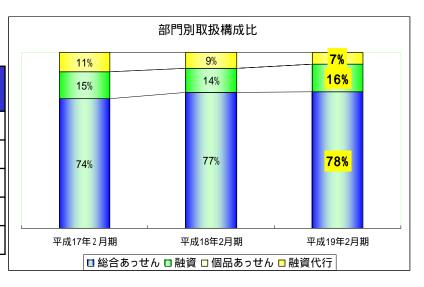


# 5. 部門別業績

#### 取扱高

(金額:百万円)

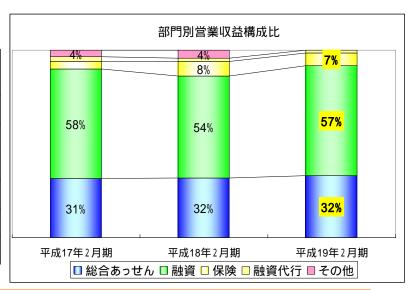
	平成18年2月期	平成19年2月期	前期比增減率
総合あっせん	225,381	266,963	18.4%
融資	40,129	54,460	35.7%
個品あっせん	315	192	-38.9%
融資代行	26,249	22,712	-13.5%
合計	292,074	344,329	17.9%



#### 営業収益

(金額:百万円)

部門	平成18年2月期	平成19年2月期	前年増減率
総合あっせん	4,780	5,657	18.3%
融資	8,187	10,031	22.5%
融資代行	295	250	-15.1%
保険	1,138	1,178	3.5%
その他	625	583	-6.7%
合計	15,025	17,699	17.8%





#### 6.カード会員数

新規会員募集 カード発行者数 退会者数 会員数

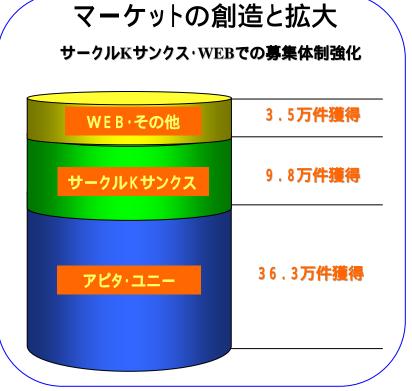
新規会員募集 49.6万人 (前期44.3万人)

カード発行者数 42.2万人 (前期39.7万人)

8.5万人 (前期9.6万人)

280.4万人 (34万人純増)





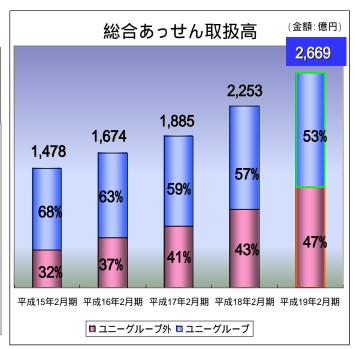


### 7.ショッピング取扱高

【取扱高】 2,669億円 (前期比増減率 18.4%増)

ユニーグループの深耕とユニーグループ外の拡大が着実に推移 17期には、グループ内外比率が均衡

	ユニーグループ	グループ外
取扱高	<b>1,417億円</b> (10.5%増)	<b>1,252億円</b> (28.9%増)
取扱高構成比	5 3 %	4 7 %
特記事項	・誕生30周年祭開催のユーストアとの販促ケーポン実施・ユニーでのバースデープレミアムチケット実施	・電力・ガス・携帯電話料金決済の拡大継続 ・大型家電量販店との加盟店契約。利用促進キャンペーン実施 ・1,000社と新たに加盟店契約





### 8.月間稼働率

【月間稼働率】 通期平均31.3% (前期比1%アップ)

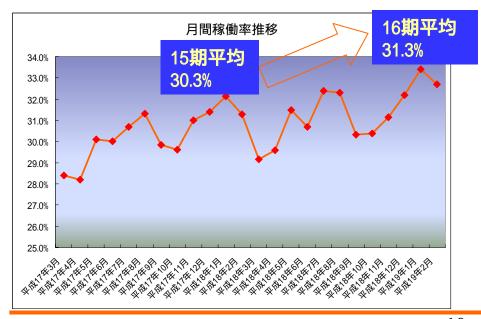
年間稼働率 53.0%

- ・カード募集現場でのスタッフによる利用促進説明徹底による新規入会者稼働率が着実にアップ
- ・家族カード、ETCカードの推進による稼働率・請求額アップ

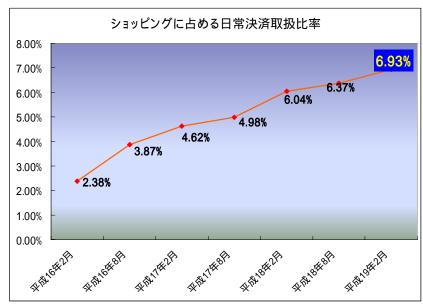
【日常決済領域】 6.93% (平成19年2月実績)

・電力、ガス料金のカード決済がさらに普及

#### 月間稼働率推移



#### 日常決済領域





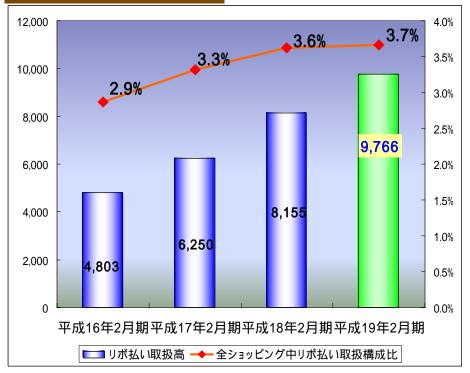
### 9.ショッピングリボの取扱高・残高

【取扱高】 97.6億円 (前期比増減率19.8%増) 【残高】 102.0億円 (前期比増減率18.3%増)

請求後もリボ払いに変更可能とし、サービスをさらに拡大。

#### リボ取扱高・取扱比率

(金額:百万円)



#### 残高·収益構成

(金額:百万円)



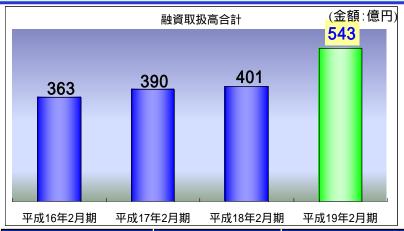


### 10.融資取扱高・残高

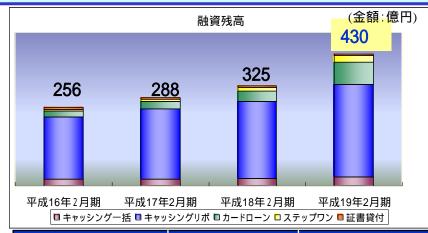
【取扱高】 544.6億円 (前期比増減率35.7%増)

【残高】 430.0億円 (前期比増減率32.2%増)

優遇金利商品「カードローン」、キャッシング専用カード「StepONE」を 政策的に拡大。



商品別	平成19年2月期	前期比增減率
キャッシング一括	263	22.9%
キャッシングリボ	187	28.7%
カードローン	67	145.5%
ステップワン	20	140.4%
証書貸付	4	2.8%
融資取扱高合計	544	35.7%



商品別	平成19年2月期	前期比增減率
キャッシング一括	28	20.4%
キャッシングリボ	301	20.2%
カードローン	72	110.9%
ステップワン	23	92.8%
証書貸付	4	-7.4%
融資残高合計	430	32.2%



### 11.その他の金融・サービス事業

#### 【営業収益】 13.9億円 (前期比増減率5.0%増)

・ショップ・職域・通信販売による保険の拡大

保険ショップ店舗数 28店舗(10店舗増加)

・車両リースのさらなる拡大

保有契約台数 2,153台

・WEBでのサービス充実(旅行受付、通信販売、保険)

#### その他事業営業収益

(金額:百万円)

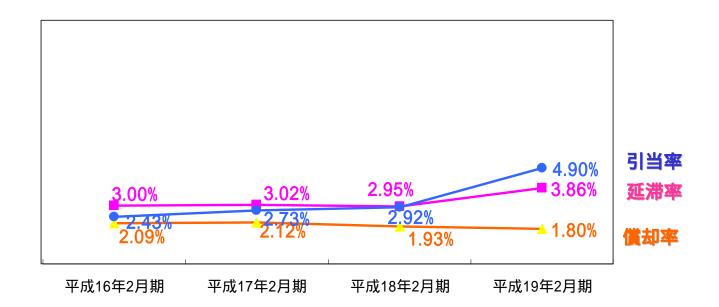
事業別	平成18年2月期	平成19年2月期	前年増減率
保険	1,138	1,178	3.5%
旅行	69	80	16.9%
通信販売	34	32	-4.7%
リース	88	106	21.6%
合計	1,329	1,396	5.0%

### 12.リスクマネジメント

【延滞率】 (延滞債権残高 / 売掛金残高) = 3.86%

【**償却率**】 (貸倒損失額 / 売掛金残高) = 1.80%

【引当率】(貸倒引当金·利息返還引当金/売掛金残高) = 4.90%



## 13. 資金調達

資金調達の多様化を図り、安定的で低利な調達を図る。

			金額:	
	前期	当期	増減	
短期借入金	10,290	15,090	4,800	
長期借入金	36,100	39,600	3,500	
<b>債権流動化</b>	4,000	9,000	5,000	
長期調達比率	71.64%	62.18%	- 9.46%	
平均調達金利	0.79%	1.02%	0.23%	

# 第17期の取り組み

### 1.第17期経営方針

・貸金業法、利息返還請求の増加等により、経営環境は大きな転換点を迎えた。



原点に戻って、目標を明確にし、事業の再構築を図る。

#### 原点

当社の最大の強みである店舗とお客様を持つユニーグループとのさらなる深耕を図りつつ、グループ外との連携をさらに強化する。

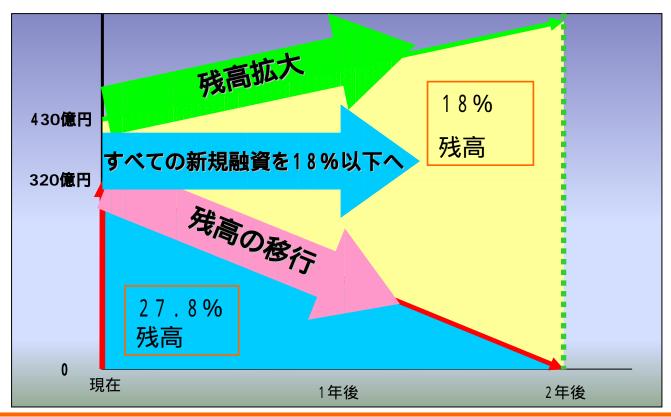
対応

(1)会員をさらに拡大し、地域・生活者に密着した様々な商品・サービスを提供することにより、 ショッピング事業を拡大する。

- (2)融資事業においては、商品の再構築と新商品の開発により新たな顧客を開拓し、 融資残高の拡大と収益の維持・拡大を図る。
- (3)保険事業においては、グループの職域と保険ショップ、そしてカード会員への通販といった三位一体の活動で大きな収益の柱としてさらに拡大させる。
- (4)カード会員へのマーケティング事業として、旅行・金融商品・サービスを他企業と連携し、 強化していく。
- (5)ローコスト経営を推進し、生産性の高い健全な経営体質を作り上げる。

### 2.貸金業法への対応

- ・3月16日より、新規融資すべてを融資利率18%以下に変更
- ・2年間で残高のすべてを18%以下に移行する中で、融資残高の拡大を同時に図る。



## 3 . 会員拡大

### ·会員数計画 317万人(前期末 +37万人)

#### モール店舗での即時発行への取組

- ▶けやきウォーク前橋(群馬県)
- ▶リバーサイド千秋(新潟県)
- ▶アクアウォーク大垣(仮称)(岐阜県)



けやきウォーク前橋



ウォークカード

#### サークルKサンクスでの募集拡大

▶月間1万件以上の募集体制のさらなる拡大



UCSカードKARUWAZA

#### 募集チャネルの拡大

>WEBでの募集拡大、モバイルでの募集強化>提携カードの推進





半田市との提携カード HANDAカード



### 4.ショッピングの拡大

• 取扱高 3,020億円(前期比増減率13.1%増)

グループ内: グループ外構成比 5 0 : 5 0 **へ** 

・ショッピングリボ残高 120億円へ

#### グループ内の深耕とグループ外拡大

- ▶テナントも含めたユニー・アピタでのカード決済促進
- ▶稼働率向上への取組
  - ・モールでの即時発行本格展開 当日利用・継続利用促進
  - ・日常決済領域のさらなる拡大
  - ·ETC、家族カード推進
- ▶非接触[C決済(QUICPay·VISATouch)導入開始
- ▶加盟店開発の推進と公共料金決済推進





#### 残高商品の拡大

- ▶ショッピングリボ手数料率の見直し 15%へ
- ▶分割払いのさらなる促進と残高拡大
- ▶あとからリボ・請求後リボへの変更サービスをさらに拡大





### 5.融資の拡大

- ・取扱高
- ・残高
- ・収益

- 5 8 2 億円 (前期比増減率6.8%増)
- 5 0 0 億円 (前期比増減率16.2%増)
- 1 0 5 億円 (前期比増減率4.6%増)

#### 低金利商品の拡大を加速

#### 2年間で、残高の移行を図りつつ、収益モデルを変革する。

- ▶3月16日より、新規融資からすべて18%以下の商品に変更する。
- ▶金利7.0%~17.4%のメンバーズローンを新たに開発し、優良顧客の囲い込みを図る。
- ▶女性専用ローンカードを下期より開始し、会員の中心である女性のニーズを取り込む。
- ▶合わせて、与信管理の厳格化を図り、リスクコントロールを強化する。







## 6.保険・リース・その他金融サービスの強化

#### **営業収益** 15.6億円(前期比増減率12.1%増)

- ・保険ショップの多店舗化から、総合化へ
- ・ショップ運営力の向上による収益性向上
- ・車輌リースのさらなる拡大
- ・会員ビジネスとしての旅行、通信販売、保険のさらなる拡大

#### 保険

▶モール型店舗への総合ショップ展開開始

アフラック、東京海上日動あんしん生命、三井住友海上きらめき生命

- ▶既存ショップの運営力強化
- ▶会員分析と会員向け媒体を活用したテレマーケティングの促進



(けやきウォーク前橋店内)

#### 通信販売·旅行

▶インターネット上での、ショッピングサイト「UCSギャザ」開始。 ▶パックツアー、企画旅行の拡大





### 7.経営目標

### 17期業績目標

営業収益

190億円

経常利益

30億円

当期純利益

17億円

1・2年目

- ・よりよい商品・サービスの開発と充実を図る。
- ・営業力の強化のための積極的な活動と投資を行う。
- ・貸金業法改正に向けた早い対応を取る。

3年目

·業界で、トップレベルの健全な経営体質と増収増益を 実現する。

(成長軌道に乗せる)

